

営農技術情報

－畑作（春まき小麦④）－

令和3年 6月23日発行

上川農業改良普及センター名寄支所 Tel.01654-2-4524
JA道北なよろ Tel.01655-3-2521
JA道北なよろ営農センター Tel.01654-3-4307

赤かび病防除1回目のタイミングは“開花始”です

1 生育経過

平年と比較し止葉期は1日早く、草丈は長く、茎数は多いです。

表1 生育状況(6月15日現在、作況ほ)

	止葉期	出穂始	出穂期	出穂揃	草丈 (cm)	茎数 (本/m ²)
本年	6/11	-	-	-	57.0	983
平年	6/12	6/19	6/22	6/26	49.7	832
遅速	早1日	-	-	-	+7.3	+151

2 赤かび病の防除

- ・最も感染しやすい時期は、開花する時です
- ・防除は、感染前の穂に薬剤を十分付着させることが重要です
- ・開花始(図1)とその後7日おき2回の合計3回、薬剤を散布しましょう
- ・開花は、通常出穂揃の4～5日後に始まりますが、好天が続くと早まります
- ・防除適期に降雨が予想される場合は、降雨前に防除を行きましょう

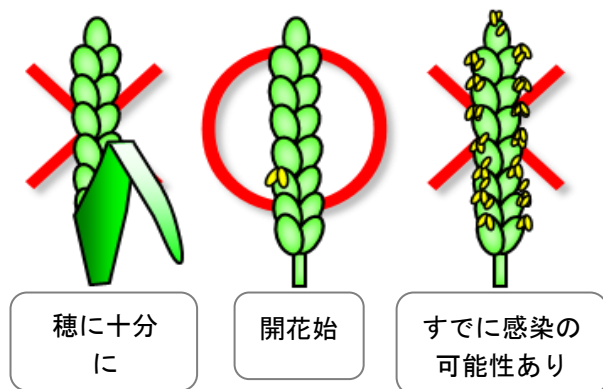


図1 赤かび病の散布開始の目安

表2 赤かび病の防除体系例(JA道北なよろ農作物施肥・病虫害・雑草防除ガイドより)

散布時期		薬剤名	使用倍率	使用時期	使用回数
1回目	開花始	バラライカ水和剤 *	500倍	収穫14日前	2
		シルバキュアフロアブル *	2,000倍	収穫7日前	2
		リベロ水和剤 *	2,000倍	収穫7日前	3
2回目	上記の7日後	トップジンM水和剤	1,000～1,500倍	収穫14日前	出穂期以降2
		ベフトップジンフロアブル	800～1,000倍	収穫14日前	出穂期以降1
3回目	上記の7日後	シルバキュアフロアブル *	2,000倍	収穫7日前	2
		リベロ水和剤 *	2,000倍	収穫7日前	3

※DMI剤(*の薬剤)の総使用回数は、5回以内(春以降は3回以内)。

3 葉面散布

例年タンパクが低いほ場では、尿素的葉面散布を行きましょう(尿素1%溶液を2～3回、赤かび病防除と同時散布)。

◎ 農薬は使用基準を守り、農薬飛散に注意しましょう ◎